【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【公開番号】特開2020-49010(P2020-49010A)
【公開日】令和2年4月2日(2020.4.2)
【年通号数】公開・登録公報2020-013
【出願番号】特願2018-182908(P2018-182908)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｚ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１６Ｇ
Ａ６３Ｆ　5/04　５１２Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和2年10月26日(2020.10.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１】
設定値を設定可能な遊技機であって、
設定キースイッチと、
スピーカと
を備え、
設定キースイッチがオンであることに基づいて移行可能な設定変更状態と、設定変更状態から設定キースイッチがオフになったことに基づいて移行可能な通常状態と、を有し、
設定変更状態から通常状態へ移行すると、スピーカから、設定変更状態が終了したこと示す終了音を時間Ｔ１の間出力可能であり、
遊技の開始条件を満たした一の遊技では、時間Ｔ２で遊技を終了させることが可能であり、
設定変更状態において、設定値が設定され、設定変更状態から通常状態へ移行した後から遊技の開始条件を満たすまでに少なくとも時間Ｔ３を要し、
以下の式が成立するように構成されている
Ｔ１＜Ｔ２＋Ｔ３（Ｔ１＞０、Ｔ２＞０、Ｔ３＞０）
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する（かっこ書きで、対応する実施形態の構成を示す。）。
本発明（第１９実施形態）は、
設定値を設定可能な遊技機（スロットマシン１０、ぱちんこ遊技機５００）であって、
設定キースイッチ（設定キースイッチ１５２、５３５）と、
スピーカ（２２、５４２）と

を備え、
設定キースイッチがオンであることに基づいて移行可能な設定変更状態と、設定変更状態から設定キースイッチがオフになったことに基づいて移行可能な通常状態と、を有し、
設定変更状態から通常状態へ移行すると、スピーカから、設定変更状態が終了したこと示す終了音を時間Ｔ１（図９６中、「Ｔ０１」）の間出力可能であり、
遊技の開始条件（スロットマシン１０の場合は規定数がベットされ、かつスタートスイッチ４１が操作されたこと。また、ぱちんこ遊技機５００の場合は、遊技球が始動口５３２に入賞したこと。）を満たした一の遊技では、時間Ｔ２（図９６中、「Ｔ１２」又は「Ｔ２２」）で遊技を終了させることが可能であり、
設定変更状態において、設定値が設定され、設定変更状態から通常状態へ移行した後から遊技の開始条件を満たすまでに少なくとも時間Ｔ３（図９６中、「Ｔ１１」又は「Ｔ１２」）を要し、
以下の式が成立するように構成されている
Ｔ１＜Ｔ２＋Ｔ３（Ｔ１＞０、Ｔ２＞０、Ｔ３＞０）
ことを特徴とする。